

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【372】

2. 日時：令和5年1月25日 10時00分～11時40分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、千明主任安全審査官、  
中村主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、三浦主任安全審査官、  
谷口技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（電源土木） 他3名

電源事業本部 耐震設計土木グループ 担当副長 他13名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力土木室 課長代理※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁のチギラです。それでは島根原子力発電所 2 号機、設工認のヒアリングを始めます。
0:00:08	本日午前中の説明項目は、主な説明事項審査会合案件ということで、
0:00:18	土建関係の設リゾート防波壁のAと、 確認となります。それでは本日の協議の進め方と、資料の確認について説明をお願いします。
0:00:29	はい。中国電力の土谷です。
0:00:32	それでは本日の進め方についてご説明します。
0:00:36	本日は取水槽防波壁ということで、まず取水槽の方、説明させていただきますまた、その後、説明者替わって防波壁の方の説明をさせていただきます。
0:00:47	取水槽の方では前回いただきましたコメント回答 2 件について、
0:00:51	説明した後新規の説明をさせていただきます。その後、取水槽及び屋外重要土木構造物の
0:01:00	論点整理について説明をしたいと思います。
0:01:04	防波壁にその後説明者かわりまして、防波壁の
0:01:09	ご説明になりますが、コメント回答と、論点整理の方を進めて参りたいと思いますが、いかがでしょうか。
0:01:19	あ、規制庁チギラです。すみません、もう 1 回。
0:01:21	いいですか。
0:01:25	はい。もう一度ご説明します。最初に取水槽の方の説明をさせていただいた後に、棒廃棄のパートに移り、移って説明というふうに、大きな流れとしたいと思います。しております。
0:01:39	取水層の方については、前回コメント回答コメントを 2 件いただいておりますので、そちらのコメント回答と、
0:01:45	新規説明がありますのでまとめてさせていただきますと思います。
0:01:49	その後、論点整理についての資料を用いて、取水槽等屋外重要土木構造物の内容について説明をしていきます。
0:01:59	続いて説明者変わります、防波壁のパート 2 Ⅲ 移りまして、コメント回答して論点整理についてご説明をしたいと思います。よろしいでしょうか。
0:02:09	はい、わかりました。
0:02:11	はい。それではそちらの確認をお願いします。
0:02:18	はい。中国電力の津谷です。それでは裁判の方させていただきます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:23	N-Sに他、06、7回、12 島根原子力発電所第 2 号機。
0:02:31	工事計画認可、
0:02:33	工事計画認可申請補正に係る論点整理について、こちらを一番といたします。
0:02:41	続いてN-Sに他 2 号 1 回 02 島根島根原子力発電所第 2 号機軌跡事項に対する回答整理表、耐震性についての計算書、取水槽、
0:02:53	こちらを 2 番にいたします。
0:02:56	続きましてN-S2 を、02602 回、04。
0:03:02	取水槽の地震応答計算書及び耐震性についての計算書に関する補足説明資料。
0:03:08	こちらを 3 番といたします。
0:03:11	続きましてN-Sにオカ 126 回、05、
0:03:16	島根原子力発電所第 2 号機指摘事項に対する回答整理表、屋外重要土木構造物、こちら 4 番といたします。
0:03:27	続いてN-S日報、02601 階、09、屋外重要土木構造物の耐震安全性評価について、
0:03:37	こちらを 5 番といたします。
0:03:40	続いて、N-Sに、
0:03:42	ほか、新居さん 1 回、16、
0:03:45	島根原子力発電所第 2 号機、指摘事項に対する回答整理表、浸水防護施設、土木、土建関係、
0:03:53	こちらを 6 番といたします。
0:03:56	最後に、N-Sに歩 027、08 回、20、
0:04:02	浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料、
0:04:06	こちらを 7 番といたします。
0:04:12	はい。規制庁、日浦です。資料の確認ができましたので、それでは、室長の方から説明をお願いします。
0:04:25	はい。中国電力の土谷です。
0:04:28	それでは資料番号 2 番の回答整理表に基づきまして、コメント回答の方をさせていただきます。
0:04:36	コメント回答、10 番と 11 番、2 ページ、すいません、資料②2 番の 2 ページ、コメント回答の 10 番 11 番の方をお願いいたします。
0:04:49	こちらでは 10 番として、同一要素の試験ひずみの平均化とせん断応力の平均化の両方を実施している要素があるかを確認して、ある場合にはその造成を説明すること。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:00	11番として、応力平均化について、前提条件及び検討の流れが分かるよう説明し、検討の保守性についても説明することといただいております。
0:05:10	こちらについて、
0:05:13	資料3番、補足説明資料、
0:05:16	を用いて説明をしていきます。
0:05:21	資料3の244ページお願いいたします。
0:05:33	資料3の244ページ、こちらに5.3、証左フローとして、新しく育てをさせていただいております。
0:05:43	こちらにつきましては、
0:05:47	5.2の影響限界の設定で示しました許容限界を用いまして、各調査項目について今日限界を下回ることを確認します。
0:05:55	表限界を上回る場合については、図5-66に示す前提条件のもと、
0:06:02	図5の67から69に示す調査フローに従い、要素の平均化部材モデルによる、
0:06:09	健全性評価及び選挙被害予測により、調査結果の見直しを実施しております。
0:06:15	図の5、66、図の5-66をご覧ください。
0:06:20	こちらに操作のフローの前提条件を記載しておりますが、曲げ軸力への破壊に対する照査及びせん断破壊に対する照査において照査値が0.95以上になる予算については、
0:06:32	平均化を行うと。
0:06:34	しております。平均化を実施しても、許容限界を満足再要素については次の方法により健全性を確認するというので、前回ご説明しました通り、曲げにつきましては、部材モデルによる健全性評価、
0:06:47	せん断破壊に対する調査については、線形利息の適用及び次の部材モデルによる健全性評価を行うとしております。
0:06:55	また、平均化を実施する範囲につきましては、駄目アサノ1.0倍となりを設定するのではなく、要素単位で1.0倍以下になるよう、
0:07:06	ああいうけ、設定することで保守的な、
0:07:09	評価を実施するとしております。
0:07:11	同一の要素では、せ詳細をひずみ及びせん断力の平均化を実施しない。
0:07:16	また、せん断破壊に対する照査においてアプセット場を適用している要素での平均化を実施しないと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:22	いう前提条件をしております。
0:07:26	次のページお願いいたします。245 ページお願いします。
0:07:29	ここから調査のフローを記載しておりますが、先ほどご説明した前提条件に基づきまして、曲げと剪断のフローについて作成をしております。
0:07:44	297 ページをお願いいたします。
0:07:56	297 ページに、
0:08:00	先ほどご説明しました調査フローに基づいて調査をした結果、
0:08:05	図の 6 の 21、23 に部材ごとの最終操作方法を赤字で示しております。
0:08:13	298 ページで説明をさせていただきたいのですが、
0:08:17	図の 6-22 に、各部材が、どこの、どの調査で、
0:08:23	調査を終えたかといったものを示しております、
0:08:29	例えば中小盤隔壁については、要素の平均化をする、して照査値が、許容限界を満足することを、
0:08:36	確認しておりますし、側壁につきましては線形被害予測を実施して、照査値が 1.0 を満足するといったところか、わかるように、赤字で、
0:08:46	追記させていただいております。
0:08:50	続きまして参考資料 11、762 ページ、お願いします。
0:09:02	700、失礼、764 ページ。
0:09:05	お願いいたします。
0:09:07	参考資料 11 せん断破壊に対する調査方法についてということで、取水槽で棒部材式に基づくせん断耐力を許容限界とした評価の保守性について検討しております。
0:09:20	県検討方法といたしまして、棒部材式を用いたせん断耐力による A 評価と、RCN に基づき算出したせん断耐力による評価の照査値を比較しています。
0:09:33	今回の検討では、せん断で最も厳しくなる、ケース④、Ss-D のマイナスプラスを選定しております。
0:09:41	以下に棒部材式とある支援の式せん断耐力式を、
0:09:45	示しております。
0:09:48	部材式ではせん断スパン比を一律で設定し、また、引張軸力が発生している場合には、コンクリートが負担する、せん断耐力がゼロとなる。
0:09:58	ことがあります。一方で RCM 基準では、せん断スパン表郡引張力が発生する場合においても、コンクリートが負担するせん断耐力が考慮されることとなっております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:10	このことから、このケースにおいては、防護だ意識 00.98 という調達でしたが、RCの基準を適用すると、0.85 まで低下するといったところを確認しております。
0:10:24	これらの理由から、水層のせん断破壊に対する調査が最大の解析ケース地震動で比較した場合は、
0:10:32	棒部材式に基づき算出したものが、RCMIに基づき算出したせん断破壊に対する照査値より大きくなることを確認しております。
0:10:44	続いて今回新規の説明になり、なる、参考資料 6、静的解析の結果についてご説明いたします。
0:10:53	681 ページ、お願いします。
0:11:03	681 ページ、こちら前回まで通知とさせていただいておりましたが記載の方させていただいております。
0:11:12	2 ページほど前に行っていただき、いただきまして
0:11:16	679 ページに、許容限界、
0:11:20	ミツイです。示しております。こちらは、コンクリートの段丘。
0:11:25	応力度と鉄筋の短期許容力を、応力度を用いて評価を実施していること。
0:11:32	また、せん断が鉄筋の短期許容応力度を下回る場合についてはせん断破壊を、1000、
0:11:40	失礼しました。
0:11:46	せん断補強金が配置される部分についてはこれを考慮して評価を実施していることを記載しております。
0:11:54	こちらへ移転、
0:11:56	訂正ですが、681 ページ。
0:12:01	10.0 評価結果のところはずー、10-1 から 10-6 及び 10-10 に示すと書いておりますが、正しくは、
0:12:12	10-7 から 10-12 となりますので次回、適正化させていただきます。
0:12:18	失礼しました。
0:12:23	続いて 718 ページお願いします。
0:12:30	718 ページ、表の中の 1、
0:12:33	以降に、この成績評価の結果を記載しておりますが、いずれの結果についても調査値が 1.0 を下回ることを確認しております。
0:12:45	以上でご説明の方を終わります。
0:12:51	はい。規制庁、日浦です。
0:12:53	それでは、今説明があった、ヒアリングの指摘事項の 10 番と 11 番。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:00	に関連して確認する点がある方、お願いします。
0:13:05	江藤地盤は、塗料といたします。では、
0:13:11	11 番ですけど、基本的にわかりやすくなったんだけど、ちょっともう少し、記載の充実という観点と、確認の点があるんで、
0:13:20	お聞きしますが、244 ページ。
0:13:27	244 ページで箱書きで、一応前提条件を書いていたかどうかということを書いていただいたんですけど、
0:13:34	ここで確認ですけど、
0:13:38	せん断の調査において、保守的に棒部材を用いていて、いわゆるせん断スパン比、
0:13:47	佐瀬さん。
0:13:48	千田スパンの効果が、 $\beta A$ は1として、
0:13:54	土木学会式、
0:13:55	を用いていることで、保守的な検討になってるっていうような前提。
0:14:01	は書かなくてもいいですか。
0:14:07	そういうこともあって基本的に線形、
0:14:11	サトウの線形だけ被害トクダとか、そういったもので、
0:14:17	人達を超えたものに関しては、
0:14:20	行うっていう話ですよ。
0:14:22	とか、平均化。
0:14:24	平均かちょっと、ロジックは違うんだろうけど、
0:14:27	一応それが一応前提条件になっていて、こういった
0:14:31	ことを、全体的なフロー。
0:14:33	してるっていうことだと思うんで、それを書いておいた方がいいとは思ってたん、この前お話したつもりでいたんですけど、
0:14:40	それはちょっと
0:14:42	お任せしますけど、
0:14:45	どうぞ。中国電力の
0:14:48	中国電力の土谷です。
0:14:50	コメントいただきました通り、 $\beta$ を1を使っているというふうなものを書いた方が保守的な検討になっていることがわかりやすいと思いますので、記載の方、追加させていただきます。
0:15:02	それとですね、
0:15:05	一つちょっと確認なんですけど、245 ページの図 5-6 の、この 67 っていうのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:13	これは、
0:15:14	対象は、
0:15:17	部材による評価っていうことで、ここで、
0:15:21	概ね弾性範囲であることを確認してるんですよね最後へAポツとフローで、ここに行くものっていうのをそもそもが、pHBを、を適用した部材、
0:15:32	と。
0:15:33	止水性のを要求がかかっている部材の場合かなと思ったんですが、そうではなかったんですって。
0:15:41	飛ぶという中部電力の。
0:15:44	土屋です。そのご理解の通りです。それがねちょっと読み取れないんだよね。実際にその人たちは何かっていうと、一般のものは、基本的には、
0:15:55	もともと、
0:15:57	かなり終局の状態だからあまりひっかからないんだよね。だけど、概ね弾性範囲にしなきゃいけないところが引っかかっちゃってるんだよねそういう僕理解してるんですよね多分そういうことですよ。
0:16:06	それがちょっとわからわからないな、わかりにくいなと思っていて、
0:16:11	例えば褶曲の疑問、これだけ見ちゃうと周オオクマ疑問と。
0:16:16	全部引っかかっちゃう。いわゆるね、
0:16:18	中国の場合は、例えば、ひずみで、
0:16:23	かぶりコンクリートが剥落するような、1%ひずみでしたっけ。そんなところに引っかかるところは、今までかつて見たことないで、あるわけないなと思っていて、
0:16:34	そういったことが多分わかりにくいんですよこれ図全体のフローでもあるんですよ。
0:16:41	だけど、その一部、
0:16:45	調査地が、部の中の狂言会が、
0:16:49	概ね段差品止めなきゃいけない部材に関しては、厳しいから、
0:16:54	になっちゃう可能性があって、
0:16:57	その下り側でわかんなくてそれが他のPhB
0:17:02	等を適用部材と、
0:17:04	止水性Aの要求がかかる部材、
0:17:08	取水機能ですか。
0:17:10	それがちょっと
0:17:12	これだと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:17:14	ちょっとフローを見てもわかんないし文章にもそこまでは示すとは書いてないの、
0:17:19	そこはわからないなと思うんで、そこはちょっとわかりやすさの観点でもうちょっと具体的に書いていただけませんかね。
0:17:29	はい。中国電力の土谷です。
0:17:31	確かにおっしゃられる通り褶曲、
0:17:34	が、今日限界となっているものについてもこれでやるというように見えますので、わかりやすくするためにこのポスターを適用している部材、また、止水性能を求められている部材、
0:17:46	はこれに準じてあるといったところがわかるように、適正化いたします。
0:17:51	はい。よろしく申し上げます。あとですね、
0:17:53	あと、参考 11 のところで、
0:17:58	基本的に言うと、766 ページあたり。
0:18:02	を見る、見ていただいて、表 2-1 に見ていただくようにここを見ればわかるんですけど一応、
0:18:08	短期の許容応力せん断力ですから、許容せん断力なんですよ。
0:18:15	RCMっていうのは、
0:18:16	妥協地。
0:18:19	に比べて褶曲が、
0:18:21	かなり厳しい下回っちゃって、1 割ぐらい下回っちゃってるっていう、ちょっと
0:18:27	照査値でいうと大体ほぼ、
0:18:32	10%ぐらい小さい、いいのかな。
0:18:36	その辺が割と文章としてはちょっと受け入れて、わかりにくいなと思っていていわゆる狂言化よりも深部限界がいか
0:18:44	今、厳しい状態で設計して計算しちゃうから引がかかっているっていうのがわかる訳。
0:18:49	してもらおう。
0:18:50	記載ぶりにしてもらった方が、
0:18:53	その保守、保守的であるといった、
0:18:57	保守的に検討したから引がかかっているんだっていうところが、浮き彫りされないと思うんで、浮き彫りされてこないの文章の辺はその辺ははっきりと書いたほうがいいと思いますがいかがですか。
0:19:11	はい。中国電力の土谷です。コメントの趣旨理解いたしましたので、そのように、この記載を追追加いたします。それですね、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:23	これで大家建築の方は多分、大体どの程度のものなのかっていうのが、
0:19:30	比較的わかりやすいと思うんですけど、一般の方々にはやっぱりその、
0:19:35	今日だとか言っても、伝わりにくいと思っていて、できれば、ですけども、参考として、やっぱりヒロサワ、
0:19:43	式とか、もう何か括弧書きでも、欄で参考値としてでもいいんですが、記載していただくと。
0:19:50	よりわかりやすいかなと思うんですが多分、
0:19:53	うん。
0:19:54	RCMよりは、数値がタイ力が大きくなるんじゃないかなと思いますけど。
0:19:59	いかがですか。
0:20:01	そんなに計算としてね。
0:20:05	オチオチちゃう。
0:20:08	平均にしないと。うん。
0:20:13	それちょっととりあえず減らしてもらってもしよければ、そういう形にしてもらえれば、
0:20:19	よりわかりやすいかなとは思いますが、
0:20:23	できなければもしせん断スパン比が、
0:20:26	わかるようであれば、
0:20:28	この
0:20:29	ディープビーム式でもいいし棒部材式でも適用するところ、この例だけでもいいんですけど、
0:20:35	算出してもらって、土木学会の使用耐力としてどの程度なのか。
0:20:41	多分僕の計算で今までずっとやって、長年やって、
0:20:44	それらが多分ヒロサワ式を上回ることは確かなかったはずなんで、
0:20:52	逆に言うと平均だと、多分、
0:20:56	センタースパー塩
0:20:58	を考慮して、適切にディープビームなり部材にしてしまっても
0:21:03	結局はダブル込むと。
0:21:05	一緒。
0:21:06	まだW子よりも大きくなる。うん。ダブル込むとおっしゃるにするのであれば、
0:21:11	あれなんだ。
0:21:14	材料係数とか安全係数全部取り払うと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:17	かなり近くなんだよね。それはもう、
0:21:20	土木学会も理解してるんだけど、いわゆる土木学会が実験と対比して、
0:21:26	部材係数を求めなさいって言ってるじゃない。
0:21:28	あれって、
0:21:29	ディープビームとか棒部材式を、部材係数と安全係数を全部 1 にすると、あれになるんで、いわゆる試験結果そのものではなくて、試験結果をある程度、
0:21:40	適正化してるっていうチューニングしてるんだよね。
0:21:44	それと僕はもう、もう全くその通りだって認めている話なんで、
0:21:48	そこから考えれば、それと大体ヒロサワ式が多分、
0:21:54	多分、平均値と一緒にぐらいになるはずなんで、
0:21:57	位置付けとしてね。だからその辺もちょっと、
0:22:00	見てもらって、何を選ぶかは選べるんですけど、基本的にしろ、どこいつてる宗教限界からすれば、ずっと、
0:22:11	安全余裕を持っている、もしくは
0:22:14	というような形通常であれば、ということがちょっとわかりやすくするとともにインパクトが、
0:22:20	言いたいことのインパクトがわかりやすくなるかなと思いますけど、ちょっとそこはちょっと、
0:22:25	マストではないですけど、
0:22:27	不
0:22:28	足しを、ここに関しては、浮き彫りにしてもらったほうがよりわかりやすい。
0:22:34	説明になるかなとは思ってます。
0:22:36	はい。中国電力ヨシツグでございます。おっしゃられるここで言いたいのは、今我々が検討しているのがある。
0:22:43	もともとのせん断耐力という保守的に検討して、やって、それでアウトになるものが出てくるんでその次のステップに行っているというその保守的なところを説明する。
0:22:53	資料を今、参考資料 11 というもので作っておりますので、
0:22:57	当間広沢式とか土木学会の
0:23:00	セールスマン日をきちんと整理するとか、ちょっとやり方はいろいろあると思いますので、ちょっとそこは検討させていただいてまたご説明させていただけたらと思います。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:09	規制庁の三浦です今、ちょうど早く補足説明資料 764 のところなんですけど、
0:24:18	ちょっとこれ書き加えといていただきたいと思うのが、このRCN基準の式っていうのは免罪規定なんですよ。
0:24:28	いわゆる梁単独とか柱単独部材に対してこれを用いていいとは一切書いてない。
0:24:34	ですね。
0:24:35	だからあくまでも現在で、ある程度応力再配分を考慮できるってことでこういうふうな緩和式っていうのを作っているの、
0:24:44	取水槽の場合はこれやっぱり免罪であると。
0:24:48	土木の場合もその面材に対して棒部材式を使っている。
0:24:53	なので、
0:24:54	その免罪規定であるRCN基準の式を持ってきましたということをちょっと前段に加えておいていただきたいんですよ。
0:25:03	これ柱、梁単独の場合はRCN基準っていうのはせん断補強が入ってないとLower効果見れないんですよ。
0:25:12	ですから非常に、むしろ、
0:25:14	単独の柱梁を見てくるとおそらくRCNというかRC基準なんですけどね、の方がアンダーの値になってくるんじゃないかなっていう気がします。あくまでも免罪に使って、
0:25:26	緩和される規定なので、その部分前段でちゃんと整理をして書いてください。
0:25:33	ちょっと誤解を受けないようにしておきたいんですよよろしくお願ひします。よろしいですか。
0:25:40	はい。中国電力の土谷です。
0:25:42	ちょっとそこはちょっと勉強できなかったんですけども、RCM基準が現在に、
0:25:49	使うものといったところがわかるように記載の方、拡充をいたします。
0:25:55	はい。規制庁の梅田です。だから、
0:25:57	今回取水槽が免罪であって、それに対して土木の方は棒部材式でチェックをしている。掃除同じ次元で免罪に対するせん断の式というのが、RCN基準のこの、
0:26:10	せん断補強金が入ってなくても効果は見れるよという資金なので、
0:26:15	そのところを正確にちょっと書いていますが、これが残っちゃうとですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:20	柱梁部材に対してもこのシキイで建築やってんのかっていうことを言われてしまうのは非常に困るので、そこんところの区分け前段で整理をして書いてください。お願いします。
0:26:33	はい。中国電力吉富でございます。今おっしゃる通り、
0:26:36	箱型構造物楽とも一部あるんですけども、土木としては現在の部分も部材式を使ってるっていうところが標準的な今、同学会も使っております。
0:26:48	で、今回の場合、特に比較したかったのは、平均化する。
0:26:54	社員とかですね、そもそもの、その使ってる式の保守性を説明する時に、限った説明のものでございますので今、皆さんおっしゃられた通り、
0:27:05	面部材としての本来あるべき姿というところでRC
0:27:10	もしくはCN基準を持ってきたというところでございますのでその前提条件をきちんと書かせていただきます。以上です。
0:27:21	はい。規制庁チギラです。それでは、
0:27:24	コメントNo.11については、これは、
0:27:29	継続ということですか。
0:27:39	より記載の、
0:27:51	はい。
0:27:52	ではコメント、ヒアリングコメントの11については、今回、回答で了としまして、いくつか記載の適正化をしていただくという話がありましたので、そちらについて反映いただければというふうに思います。
0:28:08	では取水槽について衛藤コメント回答とあと、今回、新規で説明いただいた内容と、
0:28:18	踏まえてですね何か確認する点がある方。
0:28:29	はい。規制庁の中村です。すいません、私ちょっと教えてもらいたいってところなんですけど、ちょっと当初いなかったこともあって少し確認というか教えてもらいたいんですけど今回の
0:28:42	調査フローっていうのが示されてて、今までも交渉察知とかって、他の施設とかやってると思うんですけど、
0:28:49	ここに出てきてるっていうのは、
0:28:51	取水層が照査値として、
0:28:57	厳しいところにあるっていうところで、
0:29:00	薄説明されてるってことで、
0:29:03	何ですか。
0:29:09	データする。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:13	はい。中国電力の土谷です。
0:29:16	藤の取水槽につきましては、調査の方は多岐にわたるといったところがありますので、すごい、説明も複雑になってますので一旦この調査フローという章で、
0:29:29	整理をしたといった位置付けになっております。
0:29:35	規制庁の仲村です。すいませんありがとうございました。
0:29:59	はい。
0:30:00	奥君。
0:30:01	何か確認よろしいですかね。
0:30:03	はい。
0:30:04	では取水槽の、次は
0:30:07	論点整理、
0:30:09	の内容の説明だと思っておりますので、引き続き説明をお願いします。
0:30:18	はい。中国電力の土谷です。
0:30:21	当資料番号一番を用いて取水槽及び六価需要構造構造物に関する、前回説明したところから変更した箇所について説明をいたします。
0:30:33	資料番号一番の 29 ページをお願いいたします。
0:30:44	はい。29 ページですが、1 ポツ目、赤字で記載しておりますが、
0:30:49	非常時における海水の通水機能及び津波等に対する、Sクラスの機器配管への浸水防止のための止水機能が要求されると。
0:30:57	いう記載を追記いたしております。
0:31:05	続きまして 32 ページ。
0:31:09	お願いします。
0:31:11	図の 7 の地盤改良範囲、右下のD断面の図に防波壁多重鋼管杭式擁壁。
0:31:20	Aという足を追記しております。
0:31:25	続きまして 33 ページ。
0:31:28	各許容限界の適用基準を、注記として記載を追記しております。
0:31:40	また 36 ページ、お願いします。
0:31:44	こちら、照査値で 0.99、0.98 が出ているものに対しまして部材厚の 1 杯で平均化した場合の照査値。
0:31:54	河成 0.760. 88 となるということについて追記をしております。
0:32:02	また、評価 1、それぞれの
0:32:07	調査値が出ている位置についても、表の 4、表の 5 で、追記をしております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:16	全国、前回からの変更点は以上になります。
0:32:23	はい。規制庁、日浦です。それでは資料①の受水槽と、
0:32:31	送り状土木構造物の解析手法で説明があった内容について確認する点がある方。
0:32:39	お願いします。
0:32:44	あ、規制庁のミウラです。ちょっと記載だけの話なんですけど、
0:32:50	35 ページ。
0:32:53	もう三つ目の矢羽根なんですけど、
0:32:56	要素平均化等の追加解析を実施して書いてあるんですよね。これ解析じゃないですよね、追加検討だと思うので、
0:33:05	そういうふうに修正をお願いします。
0:33:08	あと2点目が36ページ。
0:33:11	下に参考の要素平均化って書いてあって、
0:33:14	今回赤字で部材厚の1.0倍以下でというふうに書いてあるんですけど、この1.0倍であることの引用基準。
0:33:23	これは括弧内カーでも前の文章でもいいんですが、何々に従って、1.0倍以下でっていうようなことを記載しておいてください。その2点です。よろしくお願ひしますいかがですか。
0:33:38	はい。中部電力の土谷です。
0:33:40	コメントいただきました2点につきまして承知いたしました。衛藤さん。
0:33:44	修正して、修正いたします。
0:33:49	はい。規制庁チギラです他に。
0:33:52	あります。
0:34:03	規制庁の服部です。ちょっと念のために、確認だけさせていただきます。
0:34:07	36ページの、
0:34:10	表4の、
0:34:11	通水機能のところなんですけれども、
0:34:14	これは評価対象部位が導入へきで、
0:34:18	その照査値が0.22という結果が出てるということですよ。
0:34:23	この通水機能、
0:34:26	が求められる部位というのは、
0:34:29	下層の側壁とか、そういうところもはい。
0:34:34	来てる。
0:34:38	前の方に黄色い
0:34:41	ごめんなさい29ページのところで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:43	黄色いところが昨日、
0:34:47	保持する、求められる部材ということで、
0:34:51	下層のところの側壁とか隔壁とか、
0:34:54	底盤。
0:34:56	これも一応入ってるということですよ。
0:34:59	これらも含めてすべて、調査した最大値が導入費の 0.22、
0:35:06	ということでよろしいですか。ちょっと
0:35:10	まとめ資料をよく支所精査すればわかるかもしれないんですが、ちょっと今ここで、
0:35:18	念のために確認だけさせていただきたいんですがいかがですか。
0:35:24	はい。中国電力の津谷です。先ほどの
0:35:30	29 ページに記載してある部分。
0:35:35	方移送範囲になりましてこの中で、等々力が最も小さいと。
0:35:39	最も大きいということで記載をさせていただいております。
0:35:44	規制庁のハツリですはいわかりました念のために確認をしました。以上です。
0:35:54	はい、議長亀裂、他よろしいでしょうか。
0:35:59	はい。
0:36:01	例えば取水槽を、
0:36:04	で、事業者の方で追加で、
0:36:07	説明の補足とかあれば、
0:36:10	よろしいですかね。
0:36:16	はい。中国電力ヨシツグでございます。取水槽に関しては、特にないと思えます本社、どうでしょうか。
0:36:24	中央電力ツチャです。取水槽について説明追加の説明はございません。
0:36:29	はい、わかりました。それでは次の暴排防波壁ですね、そちらの関係について説明をお願いします。
0:36:42	はい。中国電力の藤村莉世。
0:36:45	資料 6 をお願いいたします。
0:36:49	資料 6 の回答整理表を用いまして、防波壁に関しますコメント回答の内容につきましてご説明をさせていただきます。
0:36:57	資料 6 の 10 ページ目をお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:37:04	ナンバー61 のコメントであります。岩盤の根入れ部について、応力再配分した場合の破壊領域の拡大の有無、必要に応じてそれらを踏まえた滑り安全率評価を説明すること。
0:37:17	につきまして、コメント回答の内容をご説明いたします。
0:37:20	また、No.62 及びNo.63 のコメントにつきましても、同じ箇所のご説明となりますので、あわせてご説明をさせていただきます。
0:37:31	それでは、資料⑦の 123 ページをお願いいたします。
0:37:47	123 ページからは鋼管杭の水平支持力の評価方法についてお示しをしておりますが、静的線形解析の記載を追加しております。
0:37:56	bポツに岩盤の局所安全係数分布の確認についてお示ししてございますが、フクイ周辺の岩盤に破壊領域が連続して分布し、周辺への進行性破壊が懸念される場合は、
0:38:09	静的線形解析を実施することで、進行性破壊を考慮した局所安全係数分布また、破壊を通る滑り面の滑り安全率を確認し、
0:38:19	水平支持力が確保されることを確認します。
0:38:22	静的線形解析及び滑り安全率算定に用いますせん断強度及び引張強度につきましては、次ページ以降にお示しをしております。
0:38:32	133 ページをお願いします。
0:38:40	133 ページの下側に、cポツといたしまして、静的線形解析を実施します評価対象断面の選定についてお示しをしております。
0:38:51	せん断強度に達する要素、または引張強度に達する要素が連続し分布し、周辺への進行性破壊が懸念される場合は、2 段面から 4 段目の角田部員におけます、
0:39:02	岩盤の局所安全係数分布や応力状態等を比較しまして、非交換杭の水平支持力の評価が最も厳しくなると考えられる断面を、静的線形解析を行う評価対象断面に選定いたします。
0:39:17	134 ページをお願いいたします。
0:39:21	134 ページでは静的線形解析による局所安全係数分布及び滑り安全率の確認についてお示しをしておりますが、選定した。
0:39:32	評価対象断面につきまして、静的線形解析を実施し、局所安全係数分布や破壊領域を通る滑り面の滑り安全率を確認することで、鋼管杭の水平支持力が確保されることを確認します。
0:39:45	136 ページをお願いいたします。
0:39:52	破壊領域を通る滑り面の滑り安全率は、図にお示ししております三瓶古野に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:57	基づきまして算定した滑り安全率が 1.2 以上であることを確認いたします。
0:40:03	なお滑り安全率の算定の際には、ばらつきを考慮したせん断強度を用いて安全率を算定いたします。
0:40:10	ただ周辺岩盤への進行性破壊が質イメージの評価に及ぼす影響を確認するため、
0:40:16	止水目地の一番荷重による、
0:40:19	地震数による最大原因に、静的線形解析による吹鳴時の変位量分、変位量増分を足し合わせた変位が、許容限界以下であることを確認いたします。
0:40:30	78 ページをお願いいたします。
0:40:40	178 ページからは、鋼管杭の水平支持力の評価結果についてお示しをしております。
0:40:46	81 ページをお願いいたします。
0:40:53	まず、181 ページでは、岩盤の局所安全係数分布の結果に、確認結果についてお示しをしております。
0:41:02	PLUG周辺の岩盤の局所安全係数分布を、次ページ以降の図にお示しをしておりますが、4 断面におきましては、鋼管杭周辺におけるせん断強度、または引張強度に達した要素は、
0:41:15	局所的でありまして、水平支持力が確保されと考えられます。
0:41:19	また 2 断面及び 33 断面におきましては、鋼管杭の前面におきまして、せん断強度、または引張強度に達した要素が連続して分布し、周辺への進行性破壊が懸念されますことから、
0:41:32	2 断面及び 33 断面の中から評価対象断面を選定いたします。
0:41:37	185 ページをお願いいたします。
0:41:43	185 ページでは、静的線形解析を実施する評価対象断面の選定結果についてお示しをしております。
0:41:51	選定理由を箇条書きで 3 点記載をしております。
0:41:55	まず 186 ページ及び 187 ページの図にお示しをしております通り、破壊領域の範囲はうとう程度であるものの、杭全面の岩盤では 33 断面の方が破壊領域がやや広範囲に分布しております。
0:42:11	次に 188 ページに使用力の図の、
0:42:15	規格を示しておりますが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:17	フクイ周辺の岩盤の応力状態は同程度であるものの、3-33 断面の方が、杭全面能力がやや大きく、杭全面に作用するせん断力が大きいと考えられます。
0:42:29	最後に 2 断面の岩盤上名付近における発生曲げモーメントに比べ、3 番目の発生曲げモーメントの方が大きいことから、鋼管杭全面の岩盤内の応力が大きいと考えられます。
0:42:42	以上のことから、鋼管杭の水平支持力の評価が最も厳しくなると考えられます。33 名を静的線形解析を行う評価対象断面に選定します。
0:42:53	189 ページをお願いいたします。
0:42:58	189 ページでは、静的線形解析による局所安全係数分布及び滑り安全率の確認結果についてお示しをしております。
0:43:08	33 断面における静的線形解析による鋼管杭周辺岩盤の局所安全係数分布図を、ホームページに、
0:43:16	中央力図を次のページにお示しをしております。
0:43:20	191 ページをお願いいたします。
0:43:24	静的線形解析を実施した結果、周囲に進行性破壊が発生するものの、その分布は局地的にあることを確認いたしました。
0:43:34	また鋼管杭周辺の岩盤の赤い要素を通る滑り面の滑り安全率を算定しました結果、ばらつきを考慮したせん断強度による滑り安全率は 1.25 であり、
0:43:45	評価基準値である 1.2 を上回っていることから、鋼管杭の水平自由が把握されることを確認いたしました。
0:43:51	192 ページをお願いいたします。
0:43:56	192 ページでは、鋼管杭周辺岩盤の進行性破壊を考慮した吹鳴時の変位量評価に対する評価結果をお示しをしております。
0:44:06	静的線形解析は 33 断面で、実施しておりますが、保守的に吹鳴時の変位量が最大でありますミイ断面の変位量に対して、静的線形解析による吹鳴時の変位量との足し合わせることで、
0:44:20	静的線形解析中の増分を考慮した相対変位量を算出します。
0:44:25	表にお示ししております通り、静的線形解析時の増分を考慮した吹鳴時の相対変位量は、地震時の相対変位量と概ね同等でありまして、
0:44:35	許容限界以下であることを確認いたしました。
0:44:38	216 ページをお願いいたします。
0:44:49	216 ページでは、施設護岸等の損傷による不確かさの検討のうち、鋼管杭の水平支持力の評価結果を示しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:59	改正係数 02 と、改正ケース④におけます、
0:45:04	鋼管杭に入れる周辺の岩盤の破壊領域の比較を、217 ページから 218 ページにお示しをさせていただきます。
0:45:13	また鋼管杭の曲げ軸力破壊に対する照査結果の比較を示しておりますが、A2 断面及び 33 断面ともに、改正ケース④における鋼管杭ネイル周辺の岩盤の破壊領域、
0:45:27	及び鋼管杭の小冊子が解析ケース②と同等以下でありますことから、解析ケース④における鋼管杭の水平支持力の評価は、解析ケース②の評価に包含されると考えられます。
0:45:40	コメントNo.61、62 及び 63 のコメント回答は以上となります。
0:45:50	規制庁の江崎です。これで一応、私ども、
0:45:55	支持力あるっていうのは理解できました。
0:45:59	ただ、次。
0:46:01	時間はあると思うんですよね、いわゆる 3 月までに。
0:46:05	それで、今、丸 4 段目はいらないと思うんですけど、②断面、
0:46:09	とか、計算。
0:46:11	もし可能であれば、しといて、確認はした方がいいと思いますが、1.25 というので、
0:46:17	1.0 切らなければ、社員は起きないんですけど、
0:46:21	もう 1.25 で 5%しか余裕がないから、
0:46:25	間違いがないことは、チェックの検証、検証というか確認のためにやっといた方がいいかなと思いますがいかがですか。
0:46:36	中国電力の藤村です。
0:46:38	おっしゃっていただきました通り
0:46:42	断面選定としましては 185 ページの方に記載をしているんですけども、破壊領域につきましては概ね同等となっておりますので、ミイ断面につきましても、制定権静的線形解析を実施いたしまして、
0:46:56	同様に評価の方をしたいと考えてございます。以上です。
0:47:01	わかりました。できれば、積極的にそれをやっていただいた方が、今回の次の会合まで行っても、もう必要ないと思いますけど、基本的には確認のために念のために確認するという意味で、
0:47:12	検討いただければと思います。
0:47:15	ちょっと確認ですけど、
0:47:16	100 や 189 ページの、
0:47:19	静的線形でやった場合で、墓、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:25	いわゆるは、
0:47:27	破壊による開放力が生じているわけですけど、実態的にこの赤線の枠の中がもともと、
0:47:37	のFLIPの、
0:47:39	破壊領域せん断とかだったと思うんですけど白抜きのところは、
0:47:43	そこが基本的に置き、
0:47:46	新たに計算すると黄色のところは転じていうふうに見ていて、
0:47:50	白抜きのところは何か回復しちゃった。
0:47:53	どういうふうな、
0:47:55	原因で、この部分が回復したかっていうのは、
0:48:00	考察されてますでしょうか。
0:48:06	中国電力の藤村です。
0:48:08	静的線形解析を実施する場合に、応力を他の要素に配分スルーことになるんですけども、一方で他の要素から応力が配分される。
0:48:24	ケースもございまして、繰り返し計算を行う過程で、このようにもともと破壊をしていたものが、白色、
0:48:32	になる
0:48:34	場合がございます。
0:48:35	です、白色になった領域につきましては、もともとは下イシイた要素になりますので、こちらにつきましては破壊したままとして扱うことで、保守的な評価ができていうふうに考えてございます。
0:48:48	です。わかりました。かなり保守的な検討されていて、実際に
0:48:52	能力引き続いた段階で、今まで破壊していたところが破壊しなくなったってことだと思うのでその辺のちょっと考察を加えていただくのと、今言ったその 1.25 といったものは、もとあったところを保守的に、
0:49:06	1 度、指導じゃないんだけど、1、この非線形解析をする前で破壊したところは、一応図残留だとかは会社として、
0:49:17	生み出して計算している。
0:49:19	ということだと思うので、その辺もし書いてあるならいいんですけど、書いてないのであれば、
0:49:25	書いといた方が、
0:49:27	より保守的な計算をしてるっていうことがわかると思いますので、
0:49:33	書いた方がいいと思いますが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:38	中国電力フジムラです承知いたしました。もともと破壊したところを破壊したものとして評価する旨を記載できてございませんでしたので、次回こちらの方を修正するようにしたいと。
0:49:50	カナダ考えております。以上です。
0:50:15	はい、規制庁チギラです。それでは今のコメント案 616263 については了としまして、それで
0:50:28	規制庁の三浦ですけどちょっとこれを教えてください。
0:50:31	静的線形解析をやっている時の外力っていうのは何を入れてるんですか。
0:50:43	中国電力の藤村です。静的線形解析を実施する時には外領空は入れ、入力はしてございませんが、もともとの
0:50:54	FLIP能力状態を引き継いで応力再配分をするといった解析をしております。わかりました。そういうことなんですね。だから、
0:51:04	例えば 189 ページで見る等、 $S_s - D$ をDープラスの解析ケースに、
0:51:13	時間が 13. 2 日、この状態を引き継いで再配分かけてるっていうふうに理解すればいいんですか。
0:51:23	中国電力藤村です。おっしゃる通りの、
0:51:26	わかりました。以上です。それと 192 ページの、
0:51:32	これ、静的線形解析で、変位増分、
0:51:37	入れてますよねそれはあれなんですよ。
0:51:40	動的解析からやられてくるへいへいに対して、今の静的解析ついて静的に入れてやった、細分した時の変形が 1.78 延びたってことなんですね。
0:51:52	ケース 2 で見ると、866.26 が、この 1.78 分増えた状態になってるので、その分保守的に 2、
0:52:01	3、2 断面の方に足し加えて、変異止水用の変位を出したっていうふうに理解していいんですよ。
0:52:09	すいません。お願いします。
0:52:12	中国電力の藤村です。おっしゃっていただいた通りでございまして静的線形解析。
0:52:18	によって生じた変位の増分を、もともとの 2 段目の援助に加えることで、変位量のほうを算出しております。
0:52:28	以上です。はい、わかりましたどうもありがとうございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:32	中国電力清水です。若干補足しますとこのコメントアノエザキさんからいただいたコメントでその前にやっております応力再配分の結果でもっと岩盤が破壊がですね海側の方に進展したときには、
0:52:44	杭がもっと変形するんじゃないかというコメントだったんですけど結果として今回の紙見ていただいてわかるようにそこまで大きな破碎配分されてなかったというのもあるですねこのぐらいの
0:52:56	変位量で収まっているというところでございますちょっと解析重ね合わせ的なものになっておりますけど結果としては妥当かなというふうに思っております以上です。
0:53:12	はい、規制庁チギラです。それでは 616263 については了として、記載の拡充等あり、あったと思いますのでそちらについて対応いただければと思います。
0:53:25	それでは次のコメント回答お願いします。
0:53:33	中国電力藤村です。資料⑥の 11 ページをお願いいたします。
0:53:42	ナンバー64 のコメントであります。地震による岩盤の破壊状況を考慮した場合の津波評価結果に対する、
0:53:49	影響について説明することにつきましては、後日回答としてございますが、こちらは基準地震動 $S_s$ による動的解析により、鋼管杭周辺の岩盤にハタ破壊領域が認められるため、
0:54:02	基準地震動 $S_s$ による同定解析、また、静的線形解析から岩盤の破壊領域を引き継いだ津波評価。
0:54:11	及び水位 49 の評価を実施したいと考えてございます。こちらの評価につきましては、強度計算に関わる補足説明資料におきましてご説明をさせていただきたいと考えてございます。
0:54:25	No.60 については以上となります。
0:54:29	はい。コメント以上ということで理解しました。それでは次お願いします。
0:54:41	はい。中国電力の梶田です。続きまして、資料番号 6 の 12 ページをお願いいたします。
0:54:51	こちらの 1 月 18 日のヒアリングにおけます、ナンバー81 のご指摘である。
0:54:57	3 次元構造解析に入力している地震応答解析における鋼管杭変位を説明すること。
0:55:03	というご指摘に対するご説明をさせていただきます。
0:55:08	資料番号 7 の 248 ページをお願いいたします。
0:55:21	3 次元構造解析に入力する鋼管杭変位をお示しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:27	入力する鋼管杭変位の考え方といたしましては、
0:55:31	これまでのヒアリングでのご説明の通り、コンクリートへき下端と、
0:55:35	コンクリ、失礼しました、鋼管杭下端との相対変位が最大となる地震動及び時刻を解析ケース 1、
0:55:43	へ地盤物性が平均のものとなります。
0:55:47	解析ケース 1 の中から選定いたしまして、その地震動及び時刻における解析ケース 1 から 3、地盤物性平均のもの、地盤物性のばらつき、 $\pm\sigma$ の 3 ケース、
0:55:58	の最大値及び最小値を 3 次元構造解析におけます鋼管杭の両端に設定しております。
0:56:07	実際に設定いたしました鋼管杭の変位につきましては、ページ中段の表にお示しをしております。
0:56:15	コメントNo.81 に関するご回答は以上となります。
0:56:20	はい。規制庁吉良です。81 についてこれ、私の
0:56:26	確認だったと思います。それで、今回航空変位ということで時制の入力値を示していただいたのでポイントについては、
0:56:37	了としたいんですけど、ちょっと確認は、
0:56:40	結局、この今の条件設定でやった場合っていうのは、ほとんど
0:56:49	ねじれっていうのが所ねじれっていうんですかねリヒョウ減ずるに、
0:56:54	当たっての変位っていうのは、
0:56:57	見られないっていうこと。
0:56:59	と、
0:57:00	理解しとけば大丈夫ですか。
0:57:06	はい。中国電力の会社です。
0:57:09	コメントおっしゃられた通りで、地盤物性のばらつきで今回バランス鋼管杭のねじりというものを表現したんですけども、そのばらつきによる影響というものは、ほとんどないということが確認できたというところですよ。以上です。
0:57:23	はい、規制庁チギラ率、地盤のばらつきだとうなりますということでわかりました。
0:57:30	実際にこの皮膚コンクリート液位のねじで、延長方向ってねじれが出るかもしれない。
0:57:38	ねっていう話を表現するにあたっての、この
0:57:44	概念というのは 249 ページとかに概念があって、こういうやり方でやりまస్తుっていうことだったんですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:57:52	これ、これ、これってあれですかね説明、すみません衛藤されてる課長の、
0:57:58	どこ、どうか、ちょっと出てこないんですけど、これについて、すみせんもう一度説明いただいてもよろしいですか。
0:58:27	市町ござい説明するページをちょっと探しております。
0:58:37	申し訳ございません中国電力の梶田です。
0:58:40	資料番号 7 の 239 ページをお願いいたします。
0:58:53	ページ中段の 5 ポツ 1 ポツ 4-6 の図にお示しをしておりますが、
0:58:59	刀禰次、3 次元構造解析におきまして、ねじりを表現する方法として、概念図をお示しております。
0:59:08	鋼管杭の両端におきまして、先ほどのご説明をした通り、解析ケース 1 から 3 のうち、鋼管杭の変位が最小となるもの、それと最大となるものを両方に、
0:59:18	鋼管杭の両端に設定いたしまして、
0:59:21	その間は、線形補間をした交換変位を与えるというやり方で
0:59:28	コンクリート液のねじりを表現しているというところになります。
0:59:34	あ、規制と違う、こちら。
0:59:37	失礼しました。すみません。この入力概念図のときの、
0:59:42	概念はわかったんですけど実際にその交換部位の変位を出すときってというのは、ここの概念図にあるように、T6 本でええと、
0:59:55	あと、その被覆益も考慮した、そういった、
1:00:02	物を考慮したモデルで、
1:00:06	ヘリを出してるっていうこと。
1:00:08	なんですよね。
1:00:12	中国電力の会社です。変位につきましては、2 次元の地震応答解析から抽出をしております。こちらの 2 次元の応答解析では、土肥コンクリート平均はモデル化をしておらず質量のみを考慮しておりますので、
1:00:26	単純に鋼管杭、失礼しました。仕込みキド液位を見込んでない結果から獲られた。
1:00:33	変位、
1:00:36	コンクリートの剛性を見込んでないので保守的な変位を見込んでいるというところになります。以上です。
1:00:42	中国電力志水です。少しフォローさせてください。今、239 ページを見ていただいていると思うんですけどもその上の方に 2 次元 FEM 解析のモデルをお示しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:55	今、会社が申した通り、こちらで鋼管杭の変位を見ております。で、先ほど
1:01:01	被覆コンクリート壁の影響はこちらでは見込んでいないと言っていたんですが重量としては見込んでおりますのでその分の慣性力入ったものとして、岩内衛藤抽出してございますので、
1:01:14	そういった意味では考慮した上で、変位を出して、その分を地盤物性のばらつきを持たせたこの2次元解析を3種類行って、
1:01:24	その変位、変位の最大最小
1:01:27	となるものを、
1:01:29	抽出してきて、
1:01:30	5、図 5.4. 11、5.1. 46 のように、入力、3次元の方に入力するというところをさせていただきます。
1:01:39	以上です。
1:01:42	はい、規制庁チギらず、この実際のその防波壁っていうのはブロック間である延長でやられているっていうところで、
1:01:54	大きく地盤がばらついたりとか地層変化するっていうところはないんだとは思いますが、その辺の前提というかこの
1:02:05	要は入力の方法っていうのが、
1:02:10	もうちょっと
1:02:12	平たく言うと適切なんですよっていうところの説明を拡充し、
1:02:17	した方がいいかなと思うんですけど。はい、いかがですか。はい。中国電力、吉住でございます。ご趣旨理解いたしました。
1:02:25	我々今考えてるのは、ワンスパンのブロックの中で、例えば鋼管杭の長さが違うような構造を通らずに、スパンで同じ。
1:02:34	杭構造でほぼ同じような岩盤深さになっているとか、
1:02:38	あと周りの状況でございますとかそういったところで、ばらつきとして、今こう考えているのが、地盤物性のばらつきだと、そういったところが少し
1:02:51	前提条件になりますので 220 ページとか 221 ページに 3次元の構造解析モデルの解析手法といった、
1:02:59	ところで今設計書、
1:03:02	新規的にこういったものを入れますという、概念図等を書いているんですけども、そこが少し今、地盤物性のばらつき、
1:03:11	スタートして書いていますので、これがだ、これを入れることは妥当なんだということをやっと地域さしていただきまして、こういったやり方で、後

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	の流れていくというところを少し拡充させていただけたらと思います。以上です。
1:03:27	はい。
1:03:28	はい、わかりました。私からは以上ですか。
1:03:35	これが一つ。
1:03:38	規制庁の家田です。
1:03:40	運営とやり方を十分理解している上でお聞きしてるんですが、例えば239 ページで見たときに、これ、
1:03:48	あれですよね鋼管杭間の部分を取り出して応力照査してますよね。それっていうのは一番やっぱり右の方で決まるんですか。
1:03:58	どこがクリティカルになってなります。ちょっとそれを教えていただけますか。
1:04:03	中国電力志水です。少しご趣旨を確認させていただきます右の方というのはこれでいうと、赤い矢印のところでしょうか。はい
1:04:12	被覆コンクリートの調査ってこの杭間の1 要素か何かでこうやられてるってお話を伺いましたよね。今、杭間で見ると、
1:04:20	向後校、
1:04:22	あるわけですよ。そのどの部分で勤務Criticalで今最大一井んが出てるのかっていうのをちょっと教えていただきたいと思ったんです。
1:04:33	中国電力清水です。はい。240 ページには詳細値を、今、1 メッシュという話のイメージを書いていますけどこちらに番号を振りまして、それで評価
1:04:45	対象1 ということで整理をしてございまして、少々お待ちください。
1:04:53	266 ページをご覧いただければと思います。
1:05:00	こちらには2 断面 33 断面となりますけれども、評価対象1 と表の左端の方に書いてございまして1235 と、番号振っております。これが
1:05:11	先ほどわかりやすいのか、263 ページを
1:05:17	ご覧いただきますとその番号が杭間のどの位置に当たるかということ、わかるように記載してございます。
1:05:26	以上です。規制庁ウエダ数はわかりましたそうちょっと出てたんですね。
1:05:31	ちょうど真ん中の方、厳しくなるんですね。はい。中国電力吉住でございます。266 ページが下なんですけど曲げとして見ると、真ん中のところが厳しくなっておりますその次のページから、
1:05:44	268、269 にせん断の方も書いておるんですけれども、せん断については、逆に端っこの方がやはりちょっと厳しく、
1:05:54	なっているハーとございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:58	やっぱりワンスパン分の反対側の杭が支えるものがない外側のほうが剪断としてはちょっと厳しい方が、になっているのかなというふうな、今分析をしております以上です。
1:06:08	逆に言うと真ん中の方が慣性力の影響が大きくなるってことなんですかね。
1:06:13	はい。中国電力ヨシツグでございます。変位の、
1:06:17	等アノス線形補間で真ん中のところをやっておりますのでどちらかというところと今おっしゃられた通り、慣性力がかかっているところの曲げて、衛藤。
1:06:27	両端よりも真ん中の方がそういったところでは
1:06:32	慣性力がカセカ自体は、も一緒に一つ、
1:06:38	分けた。
1:06:39	全部一緒なんですけれども、やはり両端に曲げが、すぐそばにいるってところの方が、ちょっとモーメントが、
1:06:47	見やすいのかなというふうに思っております。以上です。
1:06:51	わかりました。ちょっと事前に慣性力ってこともないのかもしれない。すみませんちょっと
1:06:59	これ後でなんで、論点例数の時 2 ぽつと表どこ素行がCriticalって出でなかったの、ちょっと気になったんですけど。
1:07:10	その論点の方にも、
1:07:13	どこがクリティカル箇所になってるかっていうのを入れといた方がいいような気がしました。はい。すみません。
1:07:19	中国電力清水です。はい。ご審議お願いいたします。ありがとうございます。
1:07:26	規制庁の江崎です。
1:07:28	ちょっと確認なんですけどただ 239 ページで、
1:07:33	239 ページ見ていただいていわゆるこの讃岐委員に入力する変位でこれは 3 次元に入れているのということですよね。で、算数の二次元の FLIP から出した採取位置は、
1:07:47	上の図ですよ。④断面であれば、白丸のところは
1:07:51	下の 3 次元の入力値っていう形になるんですけど、これ、
1:07:57	この部分っていうのは、
1:07:59	入力する時に、下面だけに入れて、
1:08:02	3 次元だから、だから、
1:08:05	画面だけに入れる。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:10	中国電力清水です。はい。おっしゃられる通りこの白丸のところを、下面の高さに入れるようにしております。わかりました。
1:08:19	それでね、何でこの抽出率なのかなってのはちょっとわかんなくて、
1:08:23	なんですよね例えば次の都合も。
1:08:26	普通 3-3 で、基本的には、
1:08:29	割と、
1:08:30	地表面ではないんだけど、いわゆると、
1:08:33	何か施設に触れてない、地盤とみなせるようなものと触れてないところ。
1:08:38	ですよ。
1:08:40	237 と、まだ、
1:08:43	7 のうち正面の 1 になっていて、それでなぜ何が、
1:08:52	僕として何か理解ができなかったかっていうと、
1:08:57	実際に変位を入れる、こういった計算するのであれば、
1:09:02	高さ方向、
1:09:04	いわゆる、
1:09:05	地表面から防潮堤防天端までの、
1:09:09	変位を入力すればいいのになと思っていて、
1:09:13	なぜ、下のだけ入れたんだろう。
1:09:16	というところ、それを考えた時にその抽出ミツイっていうのは、
1:09:21	どういう観点でこの抽出時は何だろう、選んだのかなっていうところに繋がってっちゃうんですけど、この辺ちょっと教えていただけますか。
1:09:29	中国電力の清水です。はい。まず、この 4 段目のこの抽出位置のイメージをちょっと、塚本 25 ページをご覧ください、
1:09:43	これですね。
1:09:45	評価対象断面図で構造の概略をお示しているんですけども、
1:09:52	ちょっと見にくいかもしれませんが防波壁の壁。
1:09:55	液体がですね、15 メートルから、左の海側で言いますと、被覆石の天端のところまで、
1:10:01	入っておりますここまで真壁大河へ期待があるということで、その辺北井下端を、
1:10:07	抽出してございます。で、
1:10:08	その位置を抽出した理由としましては、鋼管杭の変位ってところが動圧とかそういった、地震時の荷重の影響を受けて変容すると。
1:10:19	で、そこまでは 2 次元での評価と、3 次元の評価と同じ挙動になるのでここを抽出し、いたしました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:28	そこから上のところになってきますと、先ほどもお話ありましたけれども、
1:10:36	FLIPのモデル内では、鋼管杭のみをモデル化をしていて、壁については重量のみを考慮しているということで少し挙動としては、
1:10:47	実際とは少し離れているのかなという観点がありましたので、
1:10:51	地盤による変位を再現して入力することで、壁のねじれを評価するために、地表面の変位、表面高さの杭の変位を入れるということで、
1:11:02	考えて入力してございます。規制庁の江崎です。基本的に言うとね、壁の
1:11:09	コンクリートの、刺激の部分ですよね。その部分は荷重だけモデルカ ツラフィックではよくて、その剛性を見ないってことは、
1:11:18	基本的に保守的な荷重を算出することになるのでそこは何ら問題ない んで、今の話だと全然理由になっていないなど。
1:11:26	と思うんだよね。
1:11:29	一つだから、
1:11:31	その地盤。
1:11:32	いわゆる、
1:11:34	例えばね、
1:11:36	そうってちょっとはつきり書きかえたほうがいいのかと思っていてっ ていうのは 153 ページ以降曲げモーメント図見ればね。
1:11:43	例えば、
1:11:45	153 ページで、
1:11:48	言えば基本的にはこの曲げ分が傾斜してるってことは、これはこれだけ の経、
1:11:54	閉鎖がトップであるっていう形になるし 154 ページ見てもそうですよね今 までとか。
1:12:00	だから上部工ではかなりそれなりに慣性力で撓んでるんですよ。
1:12:05	ね。
1:12:07	自主的に今見ているのは、さっき言ったようにね、地盤の
1:12:12	不確かさ、ばらつきによってどれだけねじ力が生じるかっていうことで出 しているんで、
1:12:19	地表面から下のものを 3 次元入力そを弊社として相対偏差として入力 しますと、実際にはその 3 次元の中では、
1:12:30	また新たに、
1:12:32	最大応答加速度が出た。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:34	値を事故今弊社との時刻とは関係の關係に、
1:12:39	機能を
1:12:42	応答加速度を震度に置き換えて、
1:12:47	入れてるわけですね。だからその上部の部分のためには、基本的なその慣性力で評価できてるはずだから、
1:12:54	基本的にはその部分、
1:12:56	の総偏差だけを、
1:12:58	入力してあげれば液体としてのねじれとその慣性力を受けて、その液体が生じるだろう応力は、ちゃんと安全側に評価できていると多分、
1:13:10	そう言いたいのかなとは思いますがそういった理屈から考えると、
1:13:15	もともとのロジックはそういうロジックで設計しようとしているので、抽出率は基本的に簡単でいいといった記載を何か書いておかないと、何となく、
1:13:24	うん。
1:13:25	後々わからなくなっちゃうかなと思っていて全部、全体の流れがね。
1:13:32	はい。中国電力ヨシツグでございますこれ前回は我々がなぜ慣性力とか、変位をかけているのに慣性力とかもかけてるのかっていうところの、そもそもの、
1:13:43	三浦さんから少しご質問があったところの部分で我々も、
1:13:47	塀のところとそのじゃない上のところの部分の慣性力をかけないと、先ほど言ったような、上部工の失礼しました、皮膚コンクリート壁の
1:13:57	モーメントが再現できないというので、そういったところを今、
1:14:01	やってるんです今、江崎さんおっしゃられた通り
1:14:04	どうしてこういうやり方してるのかというちょっとまだ足りてないところがございますので、
1:14:10	はい。
1:14:18	はい。ですので、ちょっと
1:14:20	入力値の設定が今、あっさり書き過ぎていますので、どういう考え方でこういった辺 1 点とか慣性力をかけて設計しているのかというところがわかるように少し地域をさせていただけたらと思います。以上です。
1:14:38	はい。
1:14:39	わかりました。
1:14:40	それでは、コメントNo.81 については今回は 0 と量としてそれで今の
1:14:48	内容についてはまた新たにですね、回答。
1:14:53	はい。いただければと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:56	それでは、次のコメント回答をお願いします。
1:15:01	はい。ありがとうございます。中国電力清水です。続いて、
1:15:06	資料ナンバー6 番の中、
1:15:10	2 ページ、82 番の会コメント回答についてご説明いたします。
1:15:16	こちら鉄筋ひっぱ引抜き試験において、鉄筋降伏以外の破壊が起きていないことについて、写真等があればそういったことを踏まえて状況を説明するようにということで、
1:15:29	ございましたので、そちらを資料化してございます。資料番号 7 番の通しページ 437 ページをお願いいたします。
1:15:48	こちら模型実験の結果を記載しております。
1:15:52	こちらの方文章には、
1:15:54	引っ張り鉄筋のひずみ関係及び模型実験後のコンクリートの表面状況から、
1:16:00	コンクリートの表面の浮き上がるがコンクリート内部に続くクラックが確認されないということで記載をしてございます。
1:16:08	写真につきましては 439 ページに記載してございまして、
1:16:12	まず左の方が試験後の何も処置をしていない状況になってございます。
1:16:18	鉄筋の周りにですね、スケールを置いておりますが、それに近いところで、少し黒い線が見えるかと思うんですけれども、
1:16:28	こういったクラックがあることが確認されました。
1:16:33	こちらについてどのようなものかということで、観察をするために、その部分を除去してみたところ、
1:16:41	表面のごく薄いところのが、少し離れている程度であって、
1:16:47	こういったクラックが発生する場合というのは破壊が疑われるんだと思うんですけれども、
1:16:53	破壊といいますと鉄筋の
1:16:56	方の方から表面まで伝わってくるような、深いところから出てくるようなクラックになる、なると思うんですけれども、そういったものではないということをこちらで確認してございます。
1:17:07	いずれのケースにおきましても、
1:17:11	442 ページですとか、あとは 445 ページに同様に、
1:17:17	表面の観察結果ということで、
1:17:20	記載してございます。
1:17:21	コメント回答については以上となります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:17:27	はい。規制庁チギラです。これも私のコメントだったと思いますけど、写真を載せていただいて、状況わかったのでは、
1:17:36	私はこれで結構かと思えますか。
1:17:39	よろしいでしょうか。
1:17:40	はい。では次のコメント回答をお願いします。
1:17:46	はい、それでは資料番号 6 番に戻りまして、
1:17:49	85 番のコメントになります。
1:17:52	同じく鉄筋引抜き試験の模型実験において、実際の基部コンクリートの強度と模型実験のコンクリート強度が異なっていたということで、こちらの取り扱い考え方について整理して説明することというコメントがございました。
1:18:09	資料への反映につきましては資料番号 7 番にさせていただきます。すみませんここでこのコメント回答リストの資料等への半量箇所関連、反映。
1:18:19	箇所につきましては、このパワーポイント資料の方を記載してしまっているのですが、正しくは資料番号 7 番の方になります。
1:18:28	通しページで言いますと 430 から 431 ページに記載をさせていただきます。
1:18:42	通しページ 430 ページ使用材料のところに、まず、表 3.3-2 というところで、前回コンクリートの欄につきましては、
1:18:52	実構造物のところ、擁壁の 24 ニュートンのみを書いていたんですけども、
1:18:58	こちら記載の精緻化を図りまして、実構造物基部コンクリートにつきましては、設計基準共同 18 ニュートンであって、実験体はそれに対して 24 ニュートンであるということを、
1:19:11	記載を徹底、適正化しております。
1:19:14	実際どのように考えてやったかというところを、上の文章に書いてございます。黄色ハッチのところになりますけれども、実構造物の重力擁壁の設計基準強度は 18 ニュートンとしているんですけども、
1:19:28	し、建設時、打設時に確認した一軸圧縮強度、
1:19:34	こちらを次のページ、431 ページ。
1:19:39	に、ヒストグラムで記載してございます通り、平均値としましては 27 ニュートン平均値 -1 $\sigma$ としまして、
1:19:48	24.5 ニュートンという結果を、
1:19:51	我々持っておりました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:53	それを踏まえまして、今回のこの鉄筋引抜き試験をするということでは、実構造物における破壊形態、引張耐力に及ぼす影響等を確認するということでしたので、
1:20:05	実構造物と同程度である 24 ニュートンを、目標共同として打設、1 検体の方を作成いたしました。
1:20:14	作成した実験単位の使用材料につきましては、
1:20:20	同じく表 3.3-2 のコンクリートの下の欄に書いているんですけども、
1:20:26	実験タイ 1、②①②としまして、強度試験を行っておりまして、それぞれ 24.5、26.3 ということで、
1:20:37	実構造物と同程度の強度になるように配合して、実験をしているという旨をこちらに記載してございます。回答の方は以上になります。
1:20:50	はい。規制庁チギラです。こちら私の指摘だったと思いますが、説明いただいた内容で、はい。理解できました。
1:20:59	それでちょっと今説明の中にあっただんですけどこの一軸圧縮強度の試験の結果っていうのが建設人だということですね、明記しといた方がいいかと思しますのでそこだけお願いしたいと思います。
1:21:14	ここについて何か確認する点がある方。
1:21:17	よろしいですかね。
1:21:19	はい。ではコメントの量として、適正化だけお願いします。
1:21:23	中国電力清水ですはい。記載の適正化いたします。以上です。
1:21:27	はい。それでは、次のコメント回答をお願いします。
1:21:32	アポイント
1:21:34	あ、中国電力清水です。これでコメント回答の方は以上になりまして、
1:21:40	ちょっと適正化のほうでもし本社の方であれば、
1:21:48	すいません、中国電力の甲斐失礼しました。コメント回答 83 と 84 が残っております。失礼いたしました。こちらパワーポイントのほうになりますので、ツズキでは本社の方、
1:22:01	はい、ご説明して、お願いします。
1:22:08	はい。中国電力の会社です。
1:22:11	はい。続いてパワーポイントの方のコメント回答についてご説明をさせていただきます。
1:22:16	資料番号 6 の 12 ページをお願いいたします。
1:22:23	こちらの 1 月 18 日のヒアリングを受けます No.83 のご指摘である。
1:22:28	セメントミルクの評価方針について、求められる役割を、等を示した上で、評価方針のプロセス等を説明すること。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:38	というご指摘に対するご説明をさせていただきます。
1:22:46	資料番号 1、
1:22:49	失礼しました。資料ナンバー1 をお願いいたします。
1:23:03	失礼します。資料ナンバー1-1 ページをお願いいたします。
1:23:14	こちらにつきまして、
1:23:17	セメントミルクの役割といたしまして、鋼管杭と岩盤内に空隙を、まずシー ールセメントミルクに期待する役割は、鋼管杭及びコンクリートへきを支 持する等であり、
1:23:28	看板と同様の役割を期待している旨、
1:23:32	を追記しています。また、そのため、セメントミルクが岩盤と同様の強度 を有することを確認した上でセメントミルクを看板として、耐震及び耐津 波評価を実施する方針とする旨を追記をいたしております。
1:23:46	コメントNo.832 課に関するご回答は以上となります。
1:23:58	はい。
1:23:59	規制庁チギラです。
1:24:01	ミツイ回答の内容については、良としたいんですけど、
1:24:07	1 個だけ言葉だけですけど、岩盤と同様とあるんですけど、岩盤と同等の 役割だと思imasuのでそこは適正化いただければと思imasu。
1:24:27	中国電力清水です。はい。こちら記載の適正化を図りたいと思imasu。 以上です。
1:24:33	はい。
1:24:33	それでは次のコメント回答お願いします。
1:24:40	はい。中国電力の梶田です。続きまして、資料番号 6、12 ページ。
1:24:47	をお願いいたします。
1:24:53	衛藤ナンバー84 の指摘になります。
1:24:57	内容といたしましては、改良地盤の奥行き方向及び、深さ方向の改良 範囲、
1:25:04	失礼しました、深さ方向の範囲がわかるように説明すること。
1:25:08	ということ、ご指摘に対する回答をさせていただきます。
1:25:12	資料番号 1-6 ページをお願いいたします。
1:25:25	こちらのページで、図 4、改良地盤後の配置図をお示しをしております が、
1:25:31	こちらに改良範囲といたしまして、図の中に表を追加して、改良の範囲 がわかるように、記載を追記をしております。
1:25:41	No.84 のご指摘に対する回答は以上となります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:46	はい。規制庁日浦です。はい。こちらについては、はい。これ置いて入れていただいてわかったと思います。
1:26:01	規制庁仲村ですけども、ちょっと確認ですけどこの 6 ページでいくと、
1:26:09	延長が 480 メーターってなってるんですけども、
1:26:14	と、
1:26:15	同じパワポの資料の 2 ページですね。
1:26:19	で、
1:26:20	多重鋼管ぐいの延長が 430 になってるんですけども、多少は違うっていうのはわかるんですけど、
1:26:28	50 メーターぐらい違うんですけどこれ大丈夫ですかっていう確認ですね。
1:26:44	中国電力シミズですすみません、確かにちょっと記載が相違してございますので、こちら確認して修正をさせていただきます。どっちが正しいかあれですけど、確認して、ただし、
1:26:56	数値で入れてください。それだけです。ちょっと。中国電力志水です。真木最終の管理医療範囲の延長となっておりますので、ちょっとぴったりに一緒にはならないかもしれないんですけども、
1:27:13	5 メーター 10 メーターぐらいは違うのかなと思ったんですけど 50 メーター違うから。はい。何か明らかに違うかなと思ってるんですね。わかりました。
1:27:24	はい。
1:27:36	はい。ごめん。基本的にごめんなさい、84 については了としましてあとは、確認して、適正化があればお願いします。
1:27:46	Head。
1:27:47	では次の説明をお願いします。
1:27:58	はい。中国電力の梶田です。コメント回答に、コメントに対する回答は以上と。
1:28:05	なり、
1:28:07	ます。
1:28:08	はい、わかりました。他に説明は、
1:28:13	大丈夫ですかね。よろしいですかね。
1:28:16	はい。
1:28:17	では
1:28:20	資料、都丸市末。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:23	衛藤に関して確認する点がある方。
1:28:27	お願いしたいんですけど。
1:28:29	ちょっと私 1 点だけ、
1:28:32	確認したいんですが、
1:28:34	2 点ですかね。
1:28:38	一つ目は 18 ページは、
1:28:41	これ先ほどのまとめ資料の話の中で、補足説明資料、
1:28:47	中出江藤あったので、ここにポンプに反映するものがあればこちらにも反映してくださいっていうのが一つと。
1:28:57	あと、2 点目が、①番 15 ページ。
1:29:04	なんですけど、
1:29:06	この詳細設計申し送り事項の記載の内容がですね、ちょっと
1:29:16	回答整理表、
1:29:18	⑥の資料の、
1:29:22	2 ページ。
1:29:27	書かれているコメント内容。
1:29:29	と、ちょっと違って交換部位とコンクリートの挙動セイキに確認するためにという一文がですねちょっと省略されているので、
1:29:40	これは慌てた方がいいかなと思いますのでそこだけちょっと適正化というかですねお願いできればと思います。いかがでしょう。
1:29:51	はい。中国電力の梶田です。一つ目のコメントにありました先ほどの補足説明資料の中でご指摘いただきました、3 次元構造解析における入力条件の
1:30:02	継ぎ手の拡充というところにつきましては、パワーポイントの資料の 17 ページ、また 18 ページのところ、記載の拡充をして、次回ご説明をさせていただきますと思います。
1:30:14	それと二つ目のご指摘の、パワーポイントの 15 ページのところにつきましては、
1:30:20	回答整理表と記載が、
1:30:23	合わせるように修正をしたいと思います。以上です。
1:30:27	はい。よろしく申し上げます。
1:30:30	奥君。
1:30:32	確認する点がある方、よろしいでしょうか。
1:30:36	資料全体にどうしても、
1:30:38	大丈夫そうですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:40	はい。
1:30:41	中国電力側から何か追加で説明等ありますか。
1:30:46	はい。中国電力ヨシツグでございます。中国電力から特にございません。以上です。
1:30:52	はい、わかりました。
1:30:54	それでは本日午前によって行っていた説明項目については以上としたいと思います。それでは、ヒアリングの方を終了いたします。ありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。